ひろしま国際交流・協力情報誌

編集・発行／財団法人ひろしま国際センター交流部

HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 77
July 2012

留学生活躍支援センター主催事業　海外共同PR事業（ベトナム）・住宅保証制度のご案内

海外共同PR事業について

留学生活躍支援センターでは，９月19日（水）～26日（水）の８日間の日程でベトナムにおいて「広島県留学フェア」を行う予定です。

これは，県内大学等の参加を得て，大学などの紹介や広島県の留学・生活環境などを，外国人学生や教育機関関係者等に直接説明し，広島で勉強する留学生の受入れを促進しようとするものです。

今回は，広島大学，広島修道大学，広島国際大学，広島YMCAのスタッフとともに，９月22日（土）のホーチミン市のベトナム国家大学ホーチミン市校社会科学大学，翌23日（日）のベトナム日本人材協力センターにおける留学フェア開催を中心に現地の大学や日本語学校などを個別訪問します。これには，ベトナム現地のフェア会場となるホーチミン市の人文科学大学や，ベトナム日本人材協力センターの他にハノイ外国語大学などの日本語教育を指導する教員やスタッフの強力なバックアップをいただいており，現在準備を進めております。（空）

昨年の留学フェアの様子

「留学生住宅保証制度」がスタートしました。

広島県留学生活躍支援センター（以下「支援センター」といいます。）事業の「留学生住宅保証制度」が，４月から始まりました。

日本で部屋を借りる場合，一般的に連帯保証人が必要となります。日本人学生の場合は，両親や親類が連帯保証人となりますが，日本に親しい人がいない留学生にとっては，連帯保証人の確保が困難です。留学しやすい環境づくりを目指すため，（財）ひろしま国際センターが建物賃貸借契約上の連帯保証人となり，関係団体・大学等と連携して，留学生の円滑な住宅確保を支援します。また，（社）広島県宅地建物取引業協会等と連携し，大学等のエリアごとに民間宿舎情報を検索できるよう，支援センターのホームページ上に公開し，提供しています。（沖本）

制度の内容

1 対象者及び期間
「留学生住宅保証制度」に加入している、広島県留学生活躍支援センター事業に参加の、大学・短期大学及び高等専門学校に在籍または入学が許可された留学生で、学校に在籍している期間を保証の対象とする。

2 利用条件
①留学生は学校の推薦を受けること。
②留学生は公益財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること。
③財団法人ひろしま国際センターが定める「建物賃貸借契約書」を使用すること。

3 連帯保証の内容
①延滞家賃（共益費を含む）とその延滞損害金
②退去に伴う原状回復に要する経費
③行方不明及び帰国時の家財等の処分に要する経費

4 保証金額
敷金を充当した残余の額（「留学生住宅総合補償」の補償金支払額（上限30万円）を限度とする金額）

留学生住宅保証制度の概要

◆目次

2面　交流部だより
7面　国際プラザニュース
8面　こちらJICAデスク
9面　サミット加盟団体だより
10面　Upcoming Events News
11面　Hello Hiroshima
12面　HICからのお知らせ　他

交流部だより

理事会を開催しました

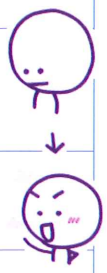
去る５月29日，当センター交流ホールにて，理事26名（委任状出席含）の出席をいただき，平成23年度の事業報告・収支決算の承認等と併せ，平成25年４月１日からの移行を目指して準備を進めている，当センターの公益財団法人移行認定申請，それに伴う定款の変更，最初の役員について，承認を得ました。（河内）

「ひろしまグローバル人財養成講座」受講生募集中！

いま若い人たちに求められている能力って何でしょう？
この度HICでは，狭い価値観にとらわれず，広い視点で価値観の違いを乗り越え，共に力を合わせて活路を切り開く力を持つ人材育成をめざした「ひろしまグローバル人財養成講座」を開催いたします。この講座に参加して，あなたの可能性を世界に広げませんか？
講座内容・申込条件等詳しくは当センターホームページ（http://hiroshima-ic.or.jp）からご覧いただけます。（佐藤）

講座プログラム

回	日時	内容	講師
第１回	8月18日(土) 13:30～17:30	オリエンテーション グローバル人財に求められる資質って何？	広島大学名誉教授　中山　修一 ESD-J代表理事　重　政子 青年海外協力協会　事業課長　堀田　直揮
第２回・第３回・第４回 価値観の違う人々との「合意形成ワーク」を通じて，より良い日本や世界のあり方について考えます。みなさんはいつまでも物事が決まらない会議，誰も意見を言わない会議を経験したことはありませんか？ こうした場を何とかできる能力を持った人は，国内はもちろん海外で活躍するうえでも大切な基礎力となります。			
第２回	8月19日(日) 13:30～17:30	一人一人の気持ちや主体的な行動を促す場づくりのノウハウを学びます。	NPO法人 これからの学びネットワーク　代表　堀江　清二 JICA国際協力推進員（広島県担当）　大塚　善久
第３回	9月22日(土) 13:30～17:30	「平和」を切り口にして，日本や世界の社会のあり方について考えます。	NPO法人 ひろしまジン大学 代表　平尾　順平
第４回	10月20日(土) 13:30～17:30	「環境」を切り口にして，日本や世界の社会のあり方について考えます。	環境教育事務所Leaf　代表　河野　宏樹
第５回・第６回 この講座で学ぶ力が活かされる場を知りましょう。			
第５回	11月23日(金) 13:30～17:30	企業が求める人材 この講座で学ぶ力は，企業も注目しています。この回では，複数の広島の企業人を招き，グループでひざを交えて語り合ってみましょう。	広島県内企業人 （予定企業：マツダ(株)，広島ガス(株)ほか）
第６回	12月 8日(土) 13:30～17:30	国際会議で求められる力 国際的な利害が対立する国連の模擬会議に参加して，身につけた力を試してみましょう。	県立広島大学　教授　富田　和広
第７回	1月13日(日) 13:30～17:30	まとめ，やりたいことの展望 これまで学んできたことをもとに，あなたはこれからどうしたいかを考えていきます。	NPO法人 これからの学びネットワーク 代表　堀江　清二



公開講座

普段あまり知る機会のない平和貢献や国際協力に関する取り組みを知り，“グローバル人財”となるためのヒントにしていただくための公開講座を開催します。広島と平和の関係について一緒に考えてみましょう。この講座は一般の方も参加できる公開講座です。

回	日時	内容	講師
第１回	9月29日(土) 14:00～16:00	国際平和のための広島の使命と役割 ―国際平和拠点ひろしま構想がめざすもの―	広島市立大学　広島平和研究所 副所長（教授）　水本　和実 広島県地域政策局国際部長　橋本　康男
第２回	1月12日(土) 14:00～16:00	CSR（企業の社会的責任）活動における協働の実践	武田薬品工業(株)　コーポレート・コミュニケーション部 シニア・マネジャー　金田　晃一

主催：(財)ひろしま国際センター，広島県　共催：ひろしま平和発信コンサート実行委員会　PEACE ARCH HIROSHIMA

募集内容

- 対象者：高校生以上～30代くらいまでの方
- 人数：24名（先着順・定員を超えた場合は抽選）
- 申込締切日：７月31日(火)
- 抽選の場合：８月６日(月)ごろ結果連絡をいたします。
- 受講料

講座の種類	一般	HICメンバーシップ	大学生 高校生
通期講座	11,000円	8,000円	5,000円
公開講座	無料	無料	無料

※HICメンバーシップの方：カードをご提示下さい
※大学生・高校生の方：学生証をご提示下さい

お知らせ

この講座シリーズ（公開講座を除く）に全て参加された参加者に修了証を発行します。

申し込み方法

E-mail/FAX/当センター窓口にてお申し込みいただけます。お申し込みの際，講座名/お名前/ご住所/年齢/職業・所属など（学生の方は学校名・学年）/ご連絡先/emailアドレス/参加しようと思ったきっかけの記載をお願い致します。

公開講座のお申込み方法

講座名／お名前／年齢／連絡先／e-mailアドレスの記載をお願い致します。

お問い合わせ・お申し込み

ひろしま国際センター　　担当：佐藤（さとう）
TEL：082-541-3777　　FAX：082-243-2001
mail:hic17@hiroshima-ic.or.jp

平成24年度「ひろしま国際交流サミット総会」及び「ひろしま国際交流サミット交流会」兼「ひろしま国際交流・貢献　親睦の集い」を開催しました

上田議長による挨拶

和田副議長によるセンター事業紹介

総会の様子

６月４日(月)に鯉城会館にて，「ひろしま国際交流サミット総会」及び「ひろしま国際交流サミット交流会」兼「ひろしま国際交流・貢献　親睦の集い」を開催しました。今年から，より多くの国際交流・国際貢献活動に携わる方々にお集まりいただくため，例年２月に開催していた「ひろしま国際交流サミット総会」を６月へ移行し，総会後の交流会を「ひろしま国際交流・貢献　親睦の集い」と併せて開催いたしました。

総会は，上田議長の挨拶にはじまり，役員の紹介，今年度のサミット事業計画の発表や，当センターの事業紹介が行われました。

その後の交流会では，開始直後から活発な情報交換や交流が進められました。途中，外国籍県民への生活支援や国際交流を通じた国際理解にご尽力されている，市民活動グループええじゃん（Asian）の栗林代表から，現場を通じた悩みや多文化共生社会における課題などをお話しいただき，参加者の皆様も深い関心をもたれたようでした。（P９に紹介）

国際交流・貢献活動に携わる広島県・広島市などの行政関係者，大学関係者，国際交流支援団体の方々や留学生支援を担当しておられる地元企業の方々など，昨年を上回る総勢100名もの多くの関係者にお集まりいただき，大盛況のうちに幕を閉じることができました。

（大辻）

※「ひろしま国際交流サミット交流会」兼「ひろしま国際交流・貢献　親睦の集い」は一本化し，来年度からは「ひろしま国際交流・貢献　親睦の集い」として開催いたします。

ひろしま国際交流サミット役員について　（敬省略）

議長	上田　みどり	広島経済大学 教授／ 広島県青年海外協力隊を育てる会　会長
副議長	スティーブン・リーパー	(公財)広島平和文化センター 理事長
副議長	和田　行司	(財)ひろしま国際センター 専務理事
幹事	佐々木　重綱	特定非営利活動法人 福山ブルガリア協会 会長
幹事	安藤　周治	さくぎ交流協会 会長
幹事	奥村　和徳	(財)東広島市教育文化振興事業団 常務理事

平成24年度ひろしま国際交流サミット事業計画

６月４日	サミット総会・交流会・親睦の集い
10月	多文化共生シンポジウム
11月	備北地域分科会
	備後地域分科会
２月	研究会・講演会

栗林 克行氏による挨拶
（市民活動グループ ええじゃん(Asian)代表）

安藤幹事による挨拶
（さくぎ交流協会 会長）

交流会の様子

「ひろしま多文化共生連絡協議会」を開催

５月25日(金)に，ひろしま多文化共生連絡協議会が開催されました。

この会議は，県や市町，国等の関係機関が連携し多言語による情報提供や相談対応の体制整備，日本語学習の支援等，外国籍県民が社会に参加し活躍できる環境づくりの推進を目的として平成18年から毎年開催されています。

今回も法務局・入国管理局・労働局・県警本部，各市町等から合わせて39名の方々が参加され，市町の多文化共生に関する新規事業の紹介や取組状況について意見交換を行いました。

HICからも昨年度の外国人相談窓口の利用状況や，本年度の外国人相談窓口体制の変更点と４回にわたり開催される外国人相談・日本語学習支援窓口担当者研修会の開催内容について報告を行いました。

この会議の成果が，広島県で生活する外国籍住民の方にとって，より有益なものになることを願っています。(大藤)

「能楽鑑賞教室」

5月28日(月),(財)ひろしん文化財団様の主催事業である「青少年のための能楽鑑賞教室」に昨年に引き続き今年もご招待いただき，広島県在住外国人の方々と日本人のグループ、７カ国計23名の方々が能舞台で演じられる美しい「能」と「狂言」を鑑賞しました。

「能・狂言」は，ユネスコから世界の無形文化遺産に選定されています。

「能」とは,詩と舞と詞（ことば）とが溶け合ってひとつになった音楽劇であり「能面」と呼ばれる独特の面を使う仮面劇です。

「狂言」は庶民の日常的な出来事を笑いを通して表現する，科白（せりふ）・喜劇です。

最初に「附子（ぶす）」という狂言を鑑賞しました。使用人太郎冠者・次郎冠者が，主（あるじ）の嘘を見破り，さらに逆手にとる一連の出来事を滑稽に描いた作品です。

次に鑑賞したのは「土蜘蛛」という能です。病床にある源頼光の所へ胡蝶が薬を持って見舞に来る。その後，怪しげな僧が現れ，千筋の蜘蛛の糸を頼光に投げつける。頼光は枕元にあった名刀で斬りつけるが，僧は姿を消す。駆けつけた武者は血の跡を辿り，葛城山の古塚の中から現れた土蜘蛛に襲われるが遂に退治するという物語です。

舞台の前で記念撮影

当日は，最前列の席を用意していただき，華麗な舞と鼓（つつみ）の音色の美しさに参加者のみなさんは大満足でした。参加された外国の方々からは，「初めて見ましたが，強い感動と能の抽象的表現に関心を持ちました」「言葉の意味は難しかったですが衣装や演技がよかった」などの感想もいただきました。

ご参加ありがとうございました。　(河内)

ＨＩＣ外国人総合相談窓口　専門相談員紹介

HICは広島県内で暮らす外国人の皆様が，安心して暮らしていただけるよう「外国人総合相談窓口」を開設しています。この窓口では，在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を，中国語をはじめとする６カ国語で提供しています。

71号(平成23年１月１日発行)より，窓口で相談業務に携わる専門相談員の方々をご紹介していますが，今回は第５弾をお届けします。

外国人総合相談窓口

①名前（ふりがな）／国籍
②専門分野・対応する相談内容資格など
③専門分野に取り組んだきっかけ
④専門相談受付日時・相談内容
⑤ひと言

【相談体制】

相談時間　(火･木) 10:00～12:00, 13:00～16:00
(土)　9:30～12:30

（専門分野）
在留資格(ビザ他)，社会保険，労働問題
（通訳）
・中国語　・ポルトガル語
・韓国語（木)午前のみ　・スペイン語　（木・土)午前のみ
・英語　（土)午前のみ　・フィリピノ語（火)午前のみ

フリーダイヤル　0120-783-806
携帯電話からは　082-541-3888（直通）

①佐々木　直美（ささき　なおみ）／日本
②・労働問題・社会保険　雇用・就業支援
　労務相談　個別労働関係紛争　等
　・広島県社会保険労務士会　広島支部　所属
③日本に住んで，広島で働いて良かったと思ってもらいたい。
④毎週火・木曜日　10:00～12:00，13:00～16:00
　毎週土曜日　9:30～12:30
⑤良い情報と感心しない情報があり，言葉に不自由のない方も選択が難しいことが多いです。解決できることばかりではないけれど，一緒に考えていけたらと思っています。

①沢谷　京子（さわたに　きょうこ）／日本
②・在留資格，ビザ，国際結婚 等
　・行政書士　NPO法人ビザサポートセンター広島所属
③自分自身が以前海外で働いた時に，ビザの手続で現地の人に助けてもらったことがあり，いつか何かの形で恩返しがしたかったからです。
④毎週火曜日・木曜日　10:00～12:00，13:00～16:00
　毎週土曜日　9:30～12:00
⑤外国での暮らしは不安が多いと思います。
　どこに相談していいかもわからないと思います。
　そんな外国人の方が少しでも安心して暮らすお手伝いができればうれしいです。
　お気軽に相談して下さい。

留学生活躍支援センター　留学生就職支援プログラムのご案内

セミナーの様子

前号HIC通信Vol.76の交流部だよりで紹介しました「広島県留学生活躍支援センター」の続報をお届けします。

私たちのセンターの目的の一つは，多数の優秀な留学生に卒業後は県内企業へ就職して活躍してもらうことにあります。広島県内には昨年５月時点で2,700人を超える留学生が大学，短期大学，高等専門学校，日本語学校等で勉強しており，彼らの約６割以上が日本国内での就職を希望していますが，実際に就職が叶うのは，その半分以下という現実があります。留学生の就職を受け入れる企業の増加を図る必要がありますが，高等教育機関でそれぞれの専門領域を学んだ優秀な留学生が企業の求人に応募してきた際に，日本人学生と異なる環境・文化で育ってきた人材をどういう方法で採用し，また，入社後どのように育てるのかということがわからないため，留学生を敬遠する企業がたくさんあります。

このため，今回も県内企業向けに「第１回留学生活用セミナー」を６月26日(火)の午後に「ひろしま国際センター」で開催しました。留学生を積極的に活用している企業からの成功事例の紹介や成果の発表，外国人社員活用によるグローバル化をコンサルティングする会社からの独自ノウハウ等の講演，さらに企業と留学生の交流も行い，留学生の採用へ向かう企業の掘り起しを行いました。

また，昨年７月と本年２月に開催した「留学生合同企業説明会」の企業の中にも，セミナーへの参加がきっかけで留学生を採用した企業がたくさんありました。

地域の活性化と多文化共生の社会を促進するためには，留学生を採用し，受け皿となる企業が多数必要です。

そのため，今後もこのセミナーを契機として，留学生就職の受け皿となる企業のお役にたてるよう活動を続けてまいります。

（空）

昨年の留学生合同企業説明会の様子

広島県留学生活躍支援センター
所在地　〒730-0037
広島市中区中町8-18
広島クリスタルプラザ６F
電　話　082-541-3781
ＦＡＸ　082-243-2001
E-mail　office@int-students-hiroshima.jp

ワールドクッキング教室受講者 募集中

世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室は，前期の受講者を募集中です。教室は月１回，火曜日クラス・木曜日クラスの２クラスです。受講料は３回，4,500円です。興味のある方はぜひ，お問合せください。

平成24年５月 シリア料理

【参考～前期開催内容】

	第３回　７月	第４回　８月	第５回　９月
日　　程	①10日　②19日	①21日　②30日	①13日　②22日
料　　理	韓国料理（予定）	デンマーク料理（予定）	ベトナム料理（予定）

※後期分(11月～３月)は，９月下旬から募集します。
※日程や料理は，事情により変更となる場合がありますので，あらかじめご了承ください。

研修部に新しいボランティア登録制度ができました!!
“HICオレンジサポーター”　登録者募集中

研修部では，ひろしま国際プラザ（東広島市鏡山）で行われる様々な交流事業でお手伝いいただける方を募集しています。

種　類	内　容	日　程
華道・書道教室（年数回）	各教室の講師の通訳	月曜日19:00～21:00
茶道・着付け教室（年数回）	各教室の講師の通訳	金曜日19:00～21:00
酒まつり	外国語で酒蔵通りの案内	酒まつりの期間中の午前または午後
世界まるごと体験デー	色々な世界の文化体験ブース（世界の遊びコーナー等）での通訳	土曜日10:00～14:00(9月と来年2月)
クッキング交流会（年数回）	参加者間（外国人と日本人）の通訳	土曜日10:00～14:00
ワールドクッキング教室（月2回）	講師の通訳	第3火曜日・第4木曜日10:00～14:00
国際理解講座（年数回）「ねえ聞いて！ワタシのお国自慢」	外国人研修員が出身国を紹介するセミナーの進行と通訳	土曜日13:30～15:00
なんでも相談日（年数回）	外国語で外国人研修員の生活上の質問に答える	土曜日あるいは日曜日9:00～11:00
茶道・着付け教室（年数回）	各教室の講師補助（語学力不要）	金曜日19:00～21:00

※HICオレンジサポーターとして活動していただく場合，登録が必要になります。

ホストファミリー募集中！

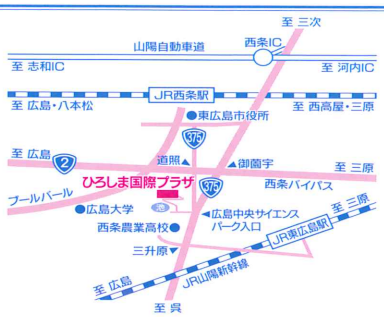
日本語を勉強中の研修員を，家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。ホームステイで外国とのつながりを作ってみませんか？　外国の方と接すると，自分の日常の中にたくさんの「！」や「？」があることに気付かされます。家庭の中での異文化体験にチャレンジしてみたい方，お待ちしています!!

ホストファミリーのための講習会参加者募集中！

ホストファミリーのための講習会も準備しています。第１弾は夏休み中の８月４日(土)10時～。ホームステイを楽しむための親子英会話教室やホストファミリー体験談などを実施予定です。もちろんご夫婦のみでの参加も可能です。第２弾は３月２日(土)を予定しています。

★お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部
〒739-0046　東広島市鏡山三丁目3-1　ひろしま国際プラザ内
（電話082-421-5900　FAX082-421-5751）
・事務室開室時間　月～金 9:00～18:00
・情報センター・図書室開室時間　毎日 10:30～19:00（平日は13:30～14:30休室）
URL：http://hiroshima-ic.or.jp/hip/
E-mail：hicc@hiroshima-ic.or.jp



広島から世界へ！　６月下旬より，広島県出身の青年海外協力隊３人，シニア海外ボランティア１人，日系社会シニアボランティア1人の合計５人が，エクアドル・スリランカ・カンボジア・ガーナ・ブラジルの合計５ヵ国に向けて出発します！

《青年海外協力隊》（左から氏名・派遣国・職種）

花岡　匡子	エクアドル	理学療法士
松原　勇作	スリランカ	ソーシャルワーカー
田中　涼子	カンボジア	小学校教諭

《シニア海外ボランティア》

大成　宣彦	ガーナ	コンピュータ技術

《日系社会シニアボランティア》

上瀬　智子	ブラジル	ソーシャルワーカー

赴任中の広島県出身 JICAボランティア(人)

区　　分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	20	22	42
シニア海外ボランティア	15	0	15
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	2	2

平成24年５月31日時点

～青年海外協力隊　派遣中隊員レポート～　セネガルの子ども達が描く世界

土久岡　真美さん　平成22年度　セネガル派遣　小学校教諭（東広島市出身）

2012年３月中旬から呉市にある「呉市国際交流広場」で開催されたJICAボランティアの活動紹介パネル展。その一角をお借りして，４月上旬から約20日間に亘り，私が日々の活動の中で子ども達と共に手がけている「絵」を展示していただくことができました。これは，昨年広島県JICAデスクへメールで相談したことをきっかけに，セネガルから東広島のJICA中国へ絵を郵送，呉市国際交流協会の御協力を得て実現した展示でした。

この度の展示は，セネガルの子ども達が手がけた作品を通して，日本でもセネガルを身近に感じてほしいという願いから企画をしました。内容は，セネガルの生活，料理，自分の大切な物の絵など。子どもの描く絵は，自分達の身近な，生活に密着している物が多く，作品からは家族の絆の深さを感じられます。貧富の差はあるものの『家庭の温かさ』は，どの家庭でも同じなのです。

日本のように，個々が鉛筆や色鉛筆を持っているわけではないため，彼らは友達や兄弟と貸し合い，何を描きたいかじっくり時間をかけて考え作成しました。子ども達に「作品を日本に送るよ」と伝えると，目をキラキラ輝かせ，いつもなら騒がしい教室も静まりかえり，子ども達は白い紙に向かって熱心に描いていました。日本人がイメージするアフリカの「貧しさ」「モノ不足」「飢餓」など微塵も感じさせない位，セネガル人はとっても陽気で優しく，たくましいことが彼らの作品からは伝わってきます。

日本とセネガルは距離も遠く，情報量も少ないため，どうしてもマイナスのイメージになりがちです。今はここセネガルで，現地の人にできる事を考える日々ですが，現場の最前線で活動できているからこそ，今回のように日本に向けて，セネガルの現状を伝える活動を手掛けることもできました。

どの国の人たちも，それぞれの社会や文化の中で幸せになろうと努力しており，素晴らしい人生を過ごしているのだということを，今回の取り組みを通じて強く感じました。日々の暮らしの中で，先進国と途上国の格差，文化，価値観の違いに，苦労する事も多くありますが，現地の人達にはいつも助けてもらってばかりいます。私が忘れかけていた「人間らしさ」がここセネガルにはある気がします。少しでも私の好きなセネガルに関心を持っていただけたら光栄に思います。

最後になりますが，今回セネガルの絵の展示を快く受け入れて下さった，呉市国際交流協会のみなさまをはじめ，展示にご協力いただいたJICA関係者にもこの場をお借りして心から御礼を申し上げます。活動期間も残り半年少々となりましたが，セネガル人と共に活動し，更に多くのことを学ばせていただきたいと思います。年明けにはそれらの土産を持って，元気に地元広島に帰国したいと思っています。ありがとうございました。

呉市国際交流広場での展示の様子

真剣に絵を描くセネガルの子ども達

絵が完成した後の記念撮影
（右奥が土久岡さん）

【JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2012】

JICAでは次世代を担う全国の中学生・高校生を対象に，開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め，国際社会の中での日本，そして私たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として，本コンテストを実施しています。今年度は，6/14(木)～9/14(金)まで応募を行なっています。

是非，身近な中･高生にコンテストの応募を勧めてみてはいかがでしょうか。詳しくは下記のウェブサイトをご覧下さい。

http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/essay/index.html

（広島県JICAデスク　大塚）

“市民活動グループ ええじゃん(Asian)”とは

在住外国人との絆を大切にし，その生活トラブルにも向き合い，同じ市民同士の協力で支え合おうとする市民グループです。

広島県廿日市市とその周辺を主たる活動範囲として2004年(平成16年)に設立されました。以来，８年間，在住外国人と日本人に法律専門家等も加わり（約30名），廿日市市等公共団体のお力も借りながら，以下の活動を行ってきました。

“主な活動内容”

１ニッポン生活相談

2008年から始めた活動で，離婚，相続，交通事故，就職，進学等多岐にわたるトラブル相談を受け，日本の制度を説明したり，窓口を教えたり，同行支援したりしています。特に，法的な問題については法テラスに同行し弁護士相談を通訳し，また，病院内で医師の説明を通訳したりしています。

2012年３月からは，厚生労働省の電話相談事業「よりそいホットライン☎0120-279-338に協力し，全国の外国人の相談も受けています。

外国人相談

FM多言語放送

２FM多言語放送

2011年10月から，FMはつかいちの多言語放送を担当し，タガログ語，英語，中国語，韓国語の順に毎週月曜日14時10分から約30分間，廿日市の生活情報と母国の音楽をお届けしています。（http://www.h-asian.orgでお聴きください。）

３多言語会話教室

アジアを中心に言葉を学び，市民レベルの交流を目指すため各種の教室を開催しています（韓国語，中国語，フランス語，スペイン語教室開講。英語も準備中）。

４避難所体験会

外国人との間に立ちはだかる言葉，文化，制度の壁に，非常時は心の壁まで顕在化し一触即発の非常事態になりかねません。平時に模擬体験し，課題を抽出し対策を練ることは，その危機回避のみならず日常的な付き合いを見直し改善することにつながります。

2011年10月に実施した避難所体験会は在住外国人や中国帰国者多数の参加を頂き，日本人住民との膝を交えた体験は大変好評で，毎年実施することになりました。

現実に大災害が起こった場合に備え，外国人被災者のサポートを行う「はつかいち外援隊」の隊員も募集しています。

５国際交流に関する催し

必要に応じて，アンケートや市民フォーラム，文化・料理教室，潮干狩り等実施しています。
日本一の移民県広島が日本一の共生の町となる日を夢みています。

市民フォーラム

ええじゃんは外国人住民の皆様に活躍して頂くと共に，次代を担う若者のご参加も期待しています。
イベントやフェイスブック，ブログ等SNSを利用して気軽にご参加下さい。

避難所体験会

お問合せ先

市民活動グループ　ええじゃん（Asian）代表：栗林克行、副代表：尹(ゆん)成化
☎＆FAX：0829-31-2224(事務所)　　e-mail：kkurisan@hotmail.com

Upcoming Events News No.121

平成24(2012)年７月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

日	内　容
1日 (日)	**上田宗箇流和風会　平成24年度茶の湯文化講演会** 講師に静岡文化芸術大学学長の熊倉功夫氏をお招きし，古田織部の茶を知るうえで貴重な資料であり，また，年次の明らかな聞書として最も古い「茶道長問織答抄」を詳しく解説していただきます。 時　　間　11:30～12:40 場　　所　広島サンプラザ3階「金銀星の間」 参加費 無料 問合せ先　上田宗箇流和風会　　担当者　佐々木育生（事務局長）　　TEL：082-271-5307
21日 (土)	**留学生日本語スピーチコンテストin広島2012** 広島で学ぶ留学生による日本語スピーチコンテストです。留学生のみなさんに広島で生活して感じたことなど日常的なことから国際問題まで，自由なテーマで５分間の日本語スピーチを披露していただきます。 時　　間　13:00～15:00 場　　所　広島経済大学立町キャンパス（定員100名） 問合せ先　広島キワニスクラブ事務局　　担当者　穂下亜紀子　　TEL：082-227-5315 HP：http://www.hiroshimakiwanis.org
28日 (土)	**Potluck Party** FUN! FUN! FUN! DISCO NIGHT POTLUCK PARTY世界の家庭料理や飲み物を持ち寄って，食べて騒いで，70年～90年代のダンスミュージックをミラーボールの下で，一緒に楽しみましょう。持ってくる物は自慢の一品料理，デザート，飲み物，お菓子などみんなと共有できるものと，お皿，箸，フォーク，スプーン，コップ，持ち帰り用タッパーなど 時　　間　18:00～22:00 場　　所　安芸高田市クリスタルアージョ　（定員150名）　参加費 100円 問合せ先　Potluck Party Club　　担当者　Kaz Meiki　　TEL：0826-42-5630

平成24(2012)年９月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

日	内　容
17日 (月・祝)	**上田宗箇流和風会　　『縮景園敬老茶会』** 多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し，長寿を祝う「敬老の日」を記念して，高齢者を接待する茶会を催します。年齢が65歳以上の方と付き添いで来られた小・中・高校生は入園料，茶券ともに無料。ただし，65歳以上の方は，年齢確認できる書類を持参すること。 時　　間　10:00～15:00（受付時間） 場　　所　広島県縮景園　参加費　600円（別途入園料が必要） 問合せ先　上田宗箇流和風会　　担当者　佐々木育生（事務局長）　　TEL：082-271-5307
30日 (日)	**上田宗箇流和風会　　『縮景園観月茶会』** 古来より賞賛されてきた仲秋の名月を愛で，琴の音に耳を傾けながら，伝統文化に親しむ茶会を開催します。行灯の薄明かりの中での茶会は，昼間とは一味違った趣があります。本席（清風館席）と野点席（清風館前芝生広場席）があります。 時　　間　15:00～19:30（受付時間） 場　　所　広島県縮景園　参加費　1,400円（別途入園料が必要） 問合せ先　上田宗箇流和風会　　担当者　佐々木育生（事務局長）　　TEL：082-271-5307

Hello Hiroshima

Vol 77
July 2012

A publication of the Hiroshima International Center (HIC)

By Guillaume Lamothe

Uh-oh. Here comes my least favorite season of them all… Summer!! Say hello to rivers of sweat, astronomical air conditioning bills, and the all-encompassing heat. And to believe I actually used to like Summer! Actually, it's very nice, in Canada. It rarely goes above 30 degrees, and it stays light out until 9:30-10:00, but here in Hiroshima it is a 3 month oven in which I am forced to bake, with brief air-conditioned respites…

But anyways, enough moaning! Today, what I'd like to talk about is weddings, and wedding ceremonies, particularly international ones. As I have myself just gotten married, I've been thinking a lot about this subject lately, and about what an international marriage in Japan entails.

In French, we have a saying: "Qui prends mari prends pays," which means, "If you take a husband, you take his country." Now, while I certainly didn't marry all of Japan (just the one woman!) I have certainly come to see the truth in it, but not quite like I expected to. Back when I used to be an English teacher, the first thing that my students (elementary and junior high schoolers) asked me was whether or not I had a garufurendo.

Of course, there were the predictable hoots when I answered that I did, however, those hoots changed into shocked gasps, or shouts of "eeeEEHH" when I added that she was, in fact, Japanese. When my wife first told her friends that she was marrying me, the general reaction were giggles or surprised gasps, often accompanied by "Kokusai kekkon! Suteki!"

Now, coming from a multiethnic, multicultural country like Canada, this sort of reaction always surprised me a little. Though, of course, there are extra bureaucratic formalities like anywhere else, Canada does not really have this idea, present in Japan and, I suspect, elsewhere in Asia, of the kokusai kekkon (international marriage.) Plenty of people do get married with someone from another nationality, but it is barely mentioned, let alone acknowledged or pointed out. In the case of Japan, I think that what lies beyond this surprised / envious reaction regarding the "international marriage" is a sense of a sort of exoticism, an idea that a kokusai kekkon will be different in some fundamental way from a normal marriage, mostly through some imagined "cultural differences" (though, I have found, people are usually hard-pressed to answer just what those might be.) Of course, an international marriage does present difficulties, but not the ones that I think people here would usually expect. In my situation, the main problem has been not so much bridging any sort of "cultural differences" between me and my wife: if these imagined "differences," were so great, we would probably never have gotten married in the first place. Rather, it has been about bridging differences between both of our families, neither of which has any extensive experience abroad, and neither of which speaks the other's language. Getting people to translate for our parents, showing my family around Japan, explaining to her parents how wedding ceremonies are done in Canada… "Qui prends mari prends pays," if you take a husband, you take his country. That may be so, but I have come to find that the more difficult relation to arrange in an international marriage is not that of two people, but that of two families.

Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
July		
7	Tanabata – paper cranes and lanterns!	All over Hiroshima!
28	Sumiyoshi Fireworks Festival	Onomichi City
Aug.		
6	Peace Memorial Day	Hiroshima City
12	Yassa Festival – traditional dance and music!	Mihara City
25	Innoshima Pirate Festival (Fire Festival) A fun, pirate-and-fire filled even on the beautiful island of Innoshima!	Onomichi City, Innoshima Island
Sept.		
1	Hassaku-Ochi-Tsuki – Traditional bull fighting; very rare!	Tsuma, Oki Island, Shimane

Editor's notes:

Festivals! I really wonder why so many Japanese festivals are in the Summer… what with the rainy season, the heat, and everything, wouldn't it be better to hold them in Spring? Anyways, Summers are never short of things to do in this country, and Hiroshima is no exception! As always, if you have any questions or comments, please email me at hic05@hiroshima-ic.or.jp

HIC交流部からのお知らせ

■通訳ボランティア養成講座を９月30日(日)に開催決定！

東京外国語大学多言語・多文化教育センター特任講師の内藤稔さんをお迎えして，通訳者が活動する際の意義や役割等について理解を深めます。前半は，「コミュニティ通訳」についての説明，後半は「演習」で，参加者は通訳技法を指導いただきながら，災害想定時のロールプレイを行います。

通訳・翻訳ボランティアの登録者には，優先してご案内しますので，これを機会に登録されたい方は，お問い合わせ下さい！

E-mail:hic03@hiroshima-ic.or.jp（野口）

■メンバーシップ（会員）を募集中！

ひろしま国際センター（HIC）では，HIC 事業に参画し，ご協力をいただくメンバーシップ（会員）制度を設けており，会員を募集中です。会員の皆様からいただいた「メンバーシップ（会員）会費」は，ふれあいコーナーの雑誌・新聞，日本語教材の購入など，HIC の実施事業に幅広く活用させていただいております。

今後，事業の一層の充実を図ってまいりますので，メンバーシップ（会員）へ継続加入いただきますとともに，お知り合いの方などに，国際交流・協力にご興味をお持ちの方がおられましたら，是非お声をおかけくださいますよう，ご協力をお願いします。

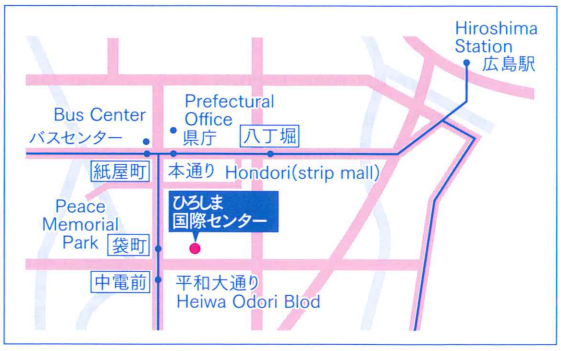
○年 会 費　個人１口　2,000円（外国人留学生1,000円）　口座振替サービスもご利用いただけます。
　　団体１口　10,000円　　※詳細についてはHIC 交流部までお問合せください。

○会員特典　旅行代金，ホテル宿泊料金の割引などの特典があります。
　　また，センター機関誌等を送付し，各種国際交流事業等の情報提供をさせていただきます。

○有効期間　会費をお支払いいただいた日から１年間

■ツイッター始めます！

コミュニケーションツールとして既に一般化している，ツイッターを使って，当センターの活動の様子や，イベント案内など，つぶやいていこうと思いますので，今後のひろしま国際センターに注目してくださいね！（近日開設予定です！）

財団法人 ひろしま国際センター
HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER
〒730-0037
広島市中区中町8-18　広島クリスタルプラザ６階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください
Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:
TEL：(082) 541-3777　FAX：(082) 243-2001
URL（Japanese）http://hiroshima-ic.or.jp/
（English）http://hiroshima-ic.or.jp/hice
E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp